【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和5年9月13日(2023.9.13)

【国際公開番号】WO2022/209254
【出願番号】特願2023-510554(P2023-510554)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｄ 21/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｄ 21/02 Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和5年4月28日(2023.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車幅方向に離間して配置され車両前後方向に延びる一対のサイドフレームと、
車幅方向に延び前記一対のサイドフレームを貫通して設けられ前記一対のサイドフレームを連結するクロスメンバと、を備え、
前記クロスメンバは、角部が円弧状に湾曲された断面略四角形状のパイプで形成され、
前記クロスメンバの車両下方側の角部は、車両上方側の角部より曲率半径が大きく設定され、
前記サイドフレームの、上下方向から見て前記クロスメンバと重なる位置において、前記クロスメンバの上方に位置する箇所に対象部品を支持するブラケットが設けられている、
ことを特徴とする車両構造。
【請求項２】
前記一対のサイドフレームは、車両前後方向一方側に向かうにつれて上下方向一方側に傾斜するキックアップ部を有し、
前記クロスメンバは、前記一対のサイドフレームの前記キックアップ部間を連結している、
ことを特徴とする請求項１に記載の車両構造。
【請求項３】
前記一対のサイドフレームの下部には、それぞれサスペンション装置が設けられ、
前記クロスメンバは、平面視した場合に車両前後方向においてサスペンション装置が位置する範囲内に位置している、
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の車両構造。
【請求項４】
前記サスペンション装置から前記サイドフレームへの荷重入力部は、前記サイドフレームの車幅方向における幅の中心よりも車幅方向外側に偏位している、
ことを特徴とする請求項３に記載の車両構造。
【請求項５】
（削除）
【請求項６】
前記クロスメンバの下面には、水抜き孔が形成される、
ことを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の車両構造。

【請求項７】
前記クロスメンバの上面には、車載機器のケーブルが固定される、
ことを特徴とする請求項１から４及び６のいずれか１項に記載の車両構造。